

本年度の鐵鋼生産について

本年度の鐵鋼生産は鐵鋼の生産が輸入原料等の事情から上半期に於て順調でなかつたため、年初計畫に對して10%内外の減産となるであらうが、鋼材の生産は大體年初計畫に近い生産となるであらう。ところで來年度の鐵鋼生産は現在のところ高爐鉄170萬トン、普通鋼材180萬トン生産計畫が立案されつゝあるが、これによると高爐鉄、鋼塊、鋼材の四半期別の生産計畫が次のように計畫されてゐる。(單位千トン)

期間	高爐鉄	平爐鋼塊	普通鋼材
4—6	273	473	380
7—9	392	575	450
10—12	517	631	490
1—3	518	635	480
計	1,700	2,314	1,800

このように生産は急上昇をしなければ計畫達成は不可能な状況にある、特に設備の新規稼働に多大の資材資金並に修理日数を要する高爐の生産カーブが激しいこのことは屑鐵の不足を銑鐵に依存するからで、來年度の鐵鋼生産は銑鋼一貫工場を中心とする集中生産が行はれることは明かである。この大増産達成のためには適切な諸施策を充分實施する必要があることは云ふまでもないが、生産意欲の盛な能率の生産を擧げられる工場の助長方策をも大いに實施する必要がある。

日本鐵鋼協會記事

I. 昭和23年度第14回理事會報告

日時 昭和24年1月12日(水) 16時30分～19時30分 會場 協會々議室 出席者 (會長)山岡武 (副會長)志村清次郎 (理事)繪野澤喜之助 菊池浩介 佐々木吉備三郎 松永陽之助 湯川正夫 横山均次 (前會長)依國一 松下長久 吉川晴十 三島徳七 (監事)田中清治 (常務委員)石田四郎 石原善雄 田畑新太郎 谷口光平 俵信次 (研究部長)里村伸二 (主事)金谷三松

報告事項一. 昭和23年度第13回(臨時)理事會の件
日時 23—12—20(月) 12時～13時 會場 協會々議室 出席者 (會長)山岡武 (副會長)志村清次郎 (理事)芥川武 菊池浩介 (前會長)吉川晴十 三島徳七 (監事)田中清治 (常務委員)佐々川清 (主事)金谷三松

協議事項一學協會の代表的論文英譯のものを文部省科學教育局資料調査課へ提出の件一決定、昭和23年1, 2, 3月號「鐵と鋼」所載平爐操業中の爐内雰囲気及

び熔鋼の溫度測定に關する研究 工學博士佐々川清君、工學博士堀田秀次君共著

II. 會計検査實施 日時 23—12—20(月)13時～14時
會長 山岡武 副會長志村清次郎 監事田中清治
實況検査を行ふ。適良

III. 昭和23年度第8回編集委員會

日時 23—12—22(水) 16時30分～19時 會場 協會々議室 出席者 (理事)菊池浩介君 (常務委員)俵信次君 (編集委員)伊木常世君 佐藤忠雄君 長谷川正義君 濱本甲子生君 (主事)金谷三松

報告事項一フランス製鐵技術文献本部との資料交換の件は文案(理事會承認)を翻譯の上發送済み

協議事項一1. 昭和24年3月號原稿選定の件 2. ゼーエツフェリース氏、講演「金屬及合金の將來」を會誌に掲載の件、決定、本件ジェ氏より承諾ありしに付き3月號に抄譯掲載のこと

技術史編纂其の後の状況一志村委員長説明

協議事項一1. 燃料協會と連合にてリード氏を招聘し講演會開催の件 決定 2月10日(木)13時～15時 東京大學第一工學部二號館第21號教室

2. 工業學協會連合より論文抄録集編纂につき執筆者取題者1名選出せられ度旨依頼ありし件一決定 芥川武君に御依頼すること

3. 本年4月2日の第34回通常總會にて表彰すべき各賞受賞者員數並に入選の件

4. 見學工場選定の件

5. 來年度改選役員候補者

推薦の件

以上3.4.5.の3件は1月22日(土)午後開催の第15回(臨時)理事會にて研究のこととする 6. 入退會者其他會員異常の件 承認

7. 昭和23年度12月分收支決算審議の件 承認

昭和23年12月末日現在會員數

名譽會員 維持會員 贊助會員 正會員 計
員數 (口數) 學生會員

8. 90 (372) 24 4,119* 4,238

*正會員學生會員中 1153名の會誌發送を停止しました

× × ×

× × ×